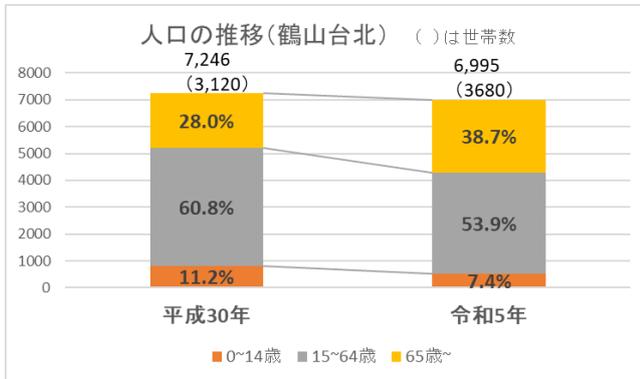


鶴山台北校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	10
	校区社協役員数	35
	校区社協ボランティア数	78
	民生委員・児童委員数	10
	老人クラブ会員数	327
	いきいきいずみ体操数	6
	おたがいさまサポーター数	7
	高齢者見守り協力事業所数	0
	子ども食堂(子どもの居場所)数	1
自主防災組織の有無	有	
対象者数	ふれあい訪問利用者数	28
	誕生月訪問利用者数	128
	避難行動要支援者登録数	80

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買い物が便利なまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
3.災害時の避難体制や避難所の運営がわかりやすく示されているまち	
3.幅広い世代の人々の交流や付き合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生・中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.思いっきり遊べる広い公園や広場
2.地域の誰もが参加できる地域食堂	2.自由に使える友だちとのたまり場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.雨の日でも遊べる場所
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.子どもの居場所づくり	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.地域や世代を問わない誰もが食を通して集える場づくり	2.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
3.高齢者の地域での見守り訪問	3.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 鶴北校区はいろいろな活動をしているので、現状の活動を持続可能な形につなげていく事が理想であり、自分たちの地域は自分たちの手で守っていききたい。
- ❖ 子どもから高齢者まで誰もが活躍できるようにしていきたい。

子どもから高齢者まで誰もが繋がれる地域づくり

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

① 【目 標】 子どもも高齢者も参加したくなる世代間交流の場を増やしていく

【具体的な取り組み】

- 大人も子どもも集える行事等を企画し、参加してもらえるように考えていく
- あいさつ運動で子どもたちと顔の見える関係を増やし、小中学校等とお互いに協力できる行事を増やしていく
- 既存の地域の集まりの場を、子どもから高齢者まで参加できるように考えていく

重点取り組み②

② 【目 標】 地域で取り組む見守り体制づくり

【具体的な取り組み】

- 登下校時の見守りあいさつ運動に加え、集まりの場も活用して地域のみんなが子どもたちを見守っていく方法を考えていく
- 支援を必要としている方と繋がる仕組みづくりに取り組んでいく
- 防災訓練等で、支援を必要としている方の安否確認に行くときには、防災用品などを持参し、災害への備えや、日頃からのご近所とのつながりが大切なことを説明していく

重点取り組み③

③ 【目 的】 地域の誰もが活躍し続ける地域づくり

【具体的な取り組み】

- 各種団体が連携しながら、情報共有などの話し合いを進め、お互いが協力できることを見つけていく
- 地域のニーズを発信しながら、対応できる経験やスキルを持った人を見つけていく
- 地域の人々が活躍できる仕組みづくりを考え、新たな担い手を増やしていく



地域福祉活動計画で
取り組んだ新たな活
動はこちら →

